

No.2 Wくん (平成23年3月卒・現20歳) 沿岸・船曳き網船

Q. 仕事の内容は？

- * 2隻または1隻で網を曳いて魚を獲る「船曳き網」船に乗船している。主に3～9月はシラス網やタイ網、10～3月は底引き網を操業している。冬場はトラフグの延縄も行うこともある。
- * 一日の日課は、3時起床、4時前後出港し、5～6回程度の曳き網（漁）を行う。水揚げはシラスの時は昼前後まで、魚類の時は14～15時頃まで行う。
- * 水揚げ後に網の修理を行うこともあるが、通常網修理は天候が悪く操業できない時に行っている。
- * 工具や道具は大切に扱うよう注意し、その管理も任されている。
- * 定休日は、日曜日と市場の休みの日だが、季節（特に冬場）によっては天候が悪く、休漁になることも多い。

Q. 大変だったことは？

- * (県外出身のため) 始めは、何と言っているのか、言葉が理解できなかった。今でも、ちょっと苦労している。
- * 網にトラブルが起こったときの対応は、何したらよいのかちょっとパニックになってしまいが、今はだいぶ慣れてきた。
- * 獲れたシラスにゴミが多いとその分別が非常に苦労する。

Q. 良かったことは？

- * タイ網のとき、大漁で海面がピンク色に輝いた時は、とても興奮して楽しかった。
- * 昼食や夕食のおかずには苦労しない。船上で、漁で獲れた生シラスや魚を刺身にして食べたり、持ち帰り自炊している。
- * 今年の夏は、シラスが大漁でとてもたくさん給料をもらった。

◆◆◆在校生へアドバイス◆◆◆

- * 勉強はそこそこやれば良いけど、実習の時はしっかりと話を聞き集中してやること。先生の注意や指導は船に乗ると身にしみて理解できる。また、(縄の) 差し継ぎやロープワークはとてもよく使い重要なので、必ず覚えること。(平成24年8月27日)



県外出身のWくんは、浜松地区に就職しましたが、在学中知り合った彼女に会うついでに、ちょくちょく学園にも漁獲物のお土産を持って寄ってくれます。真っ黒に日焼けし、いつも元気な笑顔で、とても楽しくやっている様です(笑顔は彼女に会えるから???)。